

プログラム説明書

団体名	特定非営利活動法人アーキペラゴ		
プログラム名	マイクロプラスチックを分類してみよう		
概要	海洋ごみが微細化する過程を実感し、実物を分類・観察。身近な製品との繋がりを紐解き、海ごみを減らすため私達にできることを考えます。		
ねらい	微細なプラスチックの正体を分析し、日常生活との繋がりを自覚。環境を守る主体的行動を促します。		
対象者	小学3年～中学生	人数	40名程度まで
実施場所	・教室	実施時間	45分程度
学校の準備物	パソコンでスライドを投影するためのプロジェクター、もしくはモニター	実施団体の準備物	実験道具、スライド
安全上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・体験者の数に応じて、適正な講師の数を配置する。 ・担当者と事前に綿密な打ち合わせを行う。 ・体験実施時には、慣れた講師が対応する。 		
雨天時の対応	屋内での実施		
アピールポイント	海ごみ削減に現場で取り組む経験豊富な講師が担当することでよりリアルな話ができ、香川県の海ごみについて学ぶ事で、海ごみを自分たちの身近な問題として捉える事ができます。		

プログラムの進め方

【導入】

- ・対象者に海ごみについて知っていることを聞く。
- ・香川県の海ごみの現状や実際の海岸の様子をスライドを見ながら説明する。
- ・海ごみの影響について説明。



・スライドを見ながら現状を知る

- ・実際の海ごみを「海ごみ標本箱」を見ながら、自分たちの生活の中から海ごみが出ていることを理解してもらう。



・海ごみ標本箱

【展開】

- ・自分たちが出した海ごみがどのようにして海に来るのかを考える。
- ・海ごみをそのままにしておくと、どうなってしまうのかを考え、マイクロプラスチック問題について伝える。そして、実際のマイ

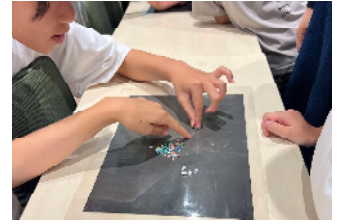
クロプラスチックを観察し、どのような種類があるのかを分類してもらう。

①マイクロプラスチックの分類体験。

マイクロプラスチックを観察し、どのような種類に分類できるかを考え分類してもらう。

海岸で実際に拾えるマイクロプラスチックにはどのようなものがあるのかを解説。

海岸はマイクロプラスチック工場であることを説明。



・マイクロプラスチック
分類

・海ごみ問題＝プラスチックごみ問題であることを理解してもらう。

【まとめ】

・人の生活と海ごみの関係について考えてもらう。

・海ごみを削減するために自分でできるアクションを考え、みんなで共有する。